

高校生物教職員のための 発生生物学リカレント講座

2010年10月2日(土)～3日(日)

場所

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター
(神戸ポートアイランド)

詳しくは裏面および

<http://www.cdb.riken.jp/recurrent>

主催 独立行政法人理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 日本発生生物学会

後援 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会 京都府教育委員会 京都市教育委員会



高校生物教職員研修会 「発生生物学リカレント講座」

高校の教職員が生き活きと生物の不思議を語り得ることは、将来の生命科学の発展、さらには我が国における科学学術文化の継承と発展に不可欠です。そこで、理化学研究所 発生・再生科学総合研究センターと日本発生生物学会は、高校における生物学教育のより一層の充実をねらい、生物教職員の皆さまを対象とした2日間の研修会「発生生物学リカレント講座」を開催いたします。是非ご参加下さい。

●プログラム

発生研究の重要なモデルであるニワトリ胚をテーマに、レクチャーと実習で構成した2日間のプログラム。ニワトリ胚は発生の進行を生きたまま容易に観察することができるため、生徒の興味を引きつける教材としても大変有効です。実習では、有精卵の入手法から必要な試薬の調製法、胚の摘出・観察・固定法まで、学校ですぐに実践できる方法を学びます。

●スケジュール

10月2日(土) 10:00~17:00

午前 レクチャー
「ニワトリ胚の発生研究」(八杉貞雄)
実習準備
午後 実習
ニワトリ胚の摘出・観察法
Newの培養法など

10月3日(日) 10:00~16:30

午前 実習
前日から培養した胚の観察など
午後 実習
胚の固定法、ウズラ胚を用いた発生観察法など
理研と神戸医療産業都市の見学ツアー(希望者)

講師：八杉貞雄(京都産業大学教授)、石井泰雄(京都産業大学助教)、薄井芳奈(兵庫県立須磨東高校)

●応募資格

高等学校の生物学担当教職員で両日とも参加できる方。

●申込み方法・お問合せ

1)お名前、2)学校名、3)連絡先(住所、電話およびEmail)、4)生物教職員としての指導年数をご記入の上、EmailまたはFAXで**2010年9月30日(木)まで**にお申し込み下さい。なお、定員(20名)に達し次第、受付を終了させていただきます。

お申込み・お問合せ先：

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 広報・国際化室 担当：南波

Email: recurrent@cdb.riken.jp FAX : 078-306-3090 TEL : 078-306-3092

●その他

*参加費は無料ですが、主催者による交通費・宿泊費等の支給はありません。また、宿泊施設はございませんので遠方の方は各自ご手配下さい。*本研修会は兵庫・京都・大阪の各府県教育委員会の後援取得申請中です。なお、他地域の方もご参加いただけます。*プログラム内容は変更する場合がありますので予めご了承ください。

昨年の様子

